

第3章 二つの世界大戦と日本 2 政党政治の時代
2 関東大震災と社会の統制 (p. 110~111)

関東大震災

- ・1923年9月1日 [] 発生
東京・横浜を中心とする地域は壊滅状態
- ・第2次 [] 内閣は [] を発令
→軍の指揮下に
- ・被災企業は [] でのしご
→決済進まず

流言と朝鮮人虐殺

- ・ [] や [] が暴動を起こすという流言が拡散
→警察の要請で民衆主体の [] 組織
→軍隊や自警団により多くの朝鮮人・中国人が虐殺される
(朝鮮人・中国人蔑視意識が背景)
- ・労働運動家や社会主義者の殺害事件
治安強化をねらう警察・軍隊が実行
[] ・伊藤野枝殺害事件, []

強まる社会の統制

- ・1923年 []
無政府主義者による [] 狙撃事件
- ・ [] の『日本改造法案大綱』
[], 天皇中心の国家改造を主張
→陸軍青年将校に大きな影響
- ・宇垣一成陸相の軍縮 ([])
⇔軍の近代化, 学校での [] の開始